

地域版

ワオ

東都生活協同組合

発行 No.23
2026年3月9日
発行:第1地域委員会
問い合わせ:足立センター
電話:03-5845-2781

ツナグ

配付地域:足立区、荒川区、江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区、台東区、草加市、八潮市、越谷市、三郷市、吉川市、松戸市、市川市、浦安市
※個人情報は東都生協の組合員活動のために使用します

<予告> 小川珈琲 de ツナグ・カフェ

京都の老舗珈琲会社、小川珈琲の学習会。商品作りのこだわりや、おいしい入れ方を学びます。

- 日時:4月15日(水)(詳細は次号)
- 会場:亀戸文化センター第3研修室
- 会費:200円予定
- 対象:組合員とその家族
- 持ち物:筆記用具、マイカップ



ご案内 第1地域委員会

地域版ワオの形式変更のお知らせ

平素より東都生協の組合員活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

この度、「地域版ワオ」の発行形式について、活動への参加をさらに活発化させることを目指し、下記のとおり変更いたします。



【変更する点】

現在発行している地域版ワオ『ツナグ』は、この形式での発行は3月23日発行で最後となります。

次年度からの地域版ワオは、第1・第2・第3地域の企画を一括でご案内します。また、全体企画、他地域の企画などもさらに充実させて掲載していきます。

3地域で協力し、組合員の皆さまをつないでいきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

問い合わせ 足立センター
☎ 03(5845)2781 受付:月曜~金曜
午前9時~午後4時

福祉

働くこと、社会の中で生きること

障害のある人の働く現状は?

障害のある人も健常者と同等に働く権利があります。しかし、障害によっては長く働けない人や職場環境が整備されていないため非正規就労になる人も多いので、障害者の平均賃金は全体で低くなります。そのため国の支援の充実が必要です。

きょうされんとは

1977年に障害のある人たちの願いをもとに16か所の共同作業所によって結成されました。現在障害があっても「あたりまえに働き、選べる暮らしを」実現するために日中系、就労系事業所やグループホーム、相談系事業所などの会員(加盟事業所)によって構成されている障害団体です。(きょうされんホームページより)

「他の者との平等」を実現するために

きょうされんが2023年に実施した「障害のある人の地域生活実態調査」では、不十分な所得補償や家族依存の実態が依然として障害のある人の「他の者との平等」を阻んでいることがあきらかになりました。

また、障害のある人を支える事業所も、危機的な職員不足と基本報酬の低さ、追い打ちをかける物価高やコロナ対応などで悲鳴をあげています。

リサイクル洗びんセンター(昭島市)

自動洗びん機の老朽化がすすみ、いよいよ買い替えの時期となっています。機械のリニューアルには約2億円の費用がかかる見込みです。これらの費用を募金活動で支援します。

日本の障害のある人は、964万7千人(2020年版障害者白書より)。13人に1人が何らかの障害を抱えています。

